

成年後見実務における 意思決定支援

平成12年に施行された新しい成年後見制度は、本人の自己決定の尊重、現有能力の活用、ノーマライゼーション等の新しい理念のもとにスタートしました。

当法人の会員は、専門職後見人として約4万件の後見事件を受託し、日々の実務の積み重ねから制度のあるべき姿を模索し、様々な活動を行って来しています。その中で、判断能力が十分でない本人への支援のあり方については、専門職後見人だけでなく、親族後見人も市民後見人も、常に実務現場で直面する課題であり、民法で規定される本人の意思の尊重・身上配慮義務が基準としてあるものの、具体的な行動の指針については判然としていません。

そこで、当法人は、昨年、「後見人の行動指針」及び「医療行為における本人の意思決定支援と代行決定に関する報告及び法整備の提言」を公表し、可能な限り本人がその意思に基づく自己決定を行えるよう、本人を支援する仕組みの必要性を提言しました。

本シンポジウムでは、こうした取り組みをさらに深め、我々が培ってきた後見人としての実践を整理し、あるべき意思決定支援の姿を模索し、障害者や高齢者等本人を中心に置いた支援のあり方についてより多くの人と共に考え、議論を深めたいと思います。

開催
日時

平成28年 **3月5日(土)**
午後1時～午後5時

開催
場所

日司連ホール (司法書士会館 地下1階)

来館者向けの駐車場はございません。
ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。



交通機関

JR：中央線・総武線 四ツ谷駅 ▶ 徒歩 5分
東京メトロ：丸の内線・南北線 四ツ谷駅 ▶ 徒歩 5分

プログラム

開会 13:00

基調講演(60分)

テーマ「成年後見制度と意思決定支援について」
柴田 洋弥 (一般社団法人日本自閉症協会常任理事)

パネルディスカッションと報告(140分)

報告テーマ「成年後見の実務現場から」
報告者 小田桐 力智 (当法人制度改善検討委員会委員)

●パネリスト

柴田 洋弥 (一般社団法人日本自閉症協会常任理事)
大輪 典子 (公益社団法人東京社会福祉士会会長)
南村 幸児 (当法人制度改善検討委員会委員)
名倉 勇一郎 (当法人制度改善検討委員会委員長)

●コーディネーター

中野 篤子 (当法人制度改善検討委員会副委員長)

閉会 16:55

※当日スケジュールが変更となる場合があります。ご了承下さい。

入場無料 定員150名

お申し込み方法

住所、氏名、電話番号、裏面備考を明記の上、**ハガキ**もしくは**FAX**にてお申し込みください。折り返し先着順にて入場整理券(ハガキ)をお送りいたします。

●ハガキでお申込みの場合

〒160-0003

東京都新宿区本塩町9番地3 司法書士会館5F
公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート
「意思決定支援シンポジウム」係

●FAXでお申込みの場合

FAX番号 03-5363-5065

お問い合わせ 03-3359-0541

受付時間 9:00▶17:00(月～金)

申込締切 平成28年2月15日(月)

※参加人数に限りがございますので、定員になり次第締め切らせていただきます。

